MYNAVI Japan Beach Volleyball Tour 2023

BVT1

Sports Regulation





公益財団法人 日本バレーボール協会 一般社団法人 日本ビーチバレーボール連盟

目次

- 1 マイナビジャパンビーチバレーボールツアー実行委員会・事務局 ···・・ P5
 - (1)実行委員会、事務局の設置
 - 1) ツアー実行委員会(全体統括)
 - 2) 各大会実行委員会(大会統括)
- 2 エントリー · · · · P5
 - (1) エントリー
 - 1) エントリー資格
 - 2) エントリー期限
 - 3) レイトエントリー
 - 4) ダブルエントリー
 - 5) チームスタッフ申請
 - 6) チーム広報
 - 7) 参加費
 - (2) 参加チームの決定
 - 1) エントリーポイント加算大会
 - 2) エントリーポイントについて
 - 3) エントリーポイントが同じ場合
 - 4) 対象になるエントリーポイントが4大会に満たない場合
 - 5) 補欠チーム/レイトエントリーチーム
 - 6) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止または延期となった場合の対応
 - 7) 産休によるポイントの取り扱いについて
 - 8) 重傷によるポイントの取り扱いについて
- 3 プレリミナリインクワイアリ・テクニカルミーティング ・・・・・ P10
 - (1) プレリミナリインクワイアリ・テクニカルミーティング
 - 1) PI
 - 2) TechMtg
 - 3) 2023年度の取り扱い
- 4 ワイルドカード · · · · · P10
 - (1) ワイルドカード
 - 1) WC の対象
 - 2) WC の推薦権
 - 3) WC の決定権

- 4) WC の期限
- 5) 外国人チームの出場
- 6) シード
- 7) WC の選手変更
- 8) その他補足
- 5 事前予選 · · · · · P12
 - (1) 予選概要
 - 1) 予選での順位について
 - 2) JBV 主催大会(JBV シリーズ/サテライト大会など)×予選会
 - 3) JVA 主催予選会
 - (2) 全体シーディン
- 6 シーディング · · · · P14
 - (1) シーディング
 - 1) 通常時
 - 2) イレギュラーの場合
 - 3) JVA オフィシャルポイントが同じ場合
 - 4) 抽選予選開催内容によって異なる
- 7 キャンセル · · · · P17
 - (1) キャンセル
 - 1) 補欠チームのキャンセル
 - 2) 予選参加チームのキャンセル
 - 3) 本戦参加チームのキャンセル(予選勝ち上がりチームも含まれる)
 - 4) 本戦参加チームのキャンセル等による繰り上げ
- 8 選手変更 ···· P18
 - (1) 選手変更
 - 1) 選手変更の期限
 - 2) 条件
 - 3) 予選参加チームの選手変更
 - 4) 本戦参加チームの選手変更(予選勝ち上がりチームも含まれる)
- 9 全体競技形式 ···· P19
 - (1) 予選(予選を実施する場合)
 - 1) 6~16チームによるシングルエリミネーショントーナメント

- 2) プール戦(各大会によって内容は異なる)
- (2) 本戦
 - 1) 6~16チームによるシングルエリミネーショントーナメント
 - 2) プール戦(各大会によって内容は異なる)
- (3) 試合順
- 10 競技全般 ···· P21
 - (1) 競技細則
 - 1) 男女共催
 - 2) 試合形式
 - 3) 試合の中断
 - 4) 競技形式の変更
 - 5) 試合球
 - 6) コーチング
 - 7) 大会の棄権
 - 8) ポイント
 - (2) ユニフォーム
 - 1) ユニフォームチェック
 - 2) マニュファクチャーロゴ
 - 3) 大会主催者によるトップスの支給
 - 4) アンダーウェア等の着用
- 11 競技方法 ···· P24
 - (1) 8チームのシングルエリミネーショントーナメント
 - (2) 10チームのシングルエリミネーショントーナメント
 - (3) 予選 8チームのシングルエリミネーショントーナメント
 - (4) 本戦 8 チームのシングルエリミネーショントーナメント
 - (5) 12 チームの予選→8 チームのシングルエリミネーショントーナメント
 - (6) 16 チームの予選→12 チームのシングルエリミネーショントーナメント
- 12 その他事項 ···· P28
 - (1) 表彰式等
 - 1) 表彰式内容
 - 2) 賞金
 - 3) 優勝トロフィー
 - 4) 選手呼び込み
 - 5) MWC 賞

- (2) ビデオ/配信
 - 1)チームビデオ
 - 2)ライブ配信
- (3) 公式行事への参加について
 - 1) 公式行事(開会式/表彰式など)
 - 2) 併催イベント、交流試合、始球式、スクール等
- (4) コンプライアンス規定の遵守
- (5) 試合中の負傷に関する対応
 - 1) メディカルアシスタンスプロトコル
 - 2) 負傷/病気の選手が医療支援を受ける場合
 - 3) 国際大会との相違について
- (6) 入れ墨・タトゥー
- (7) その他
 - 1)併催大会
 - 2)国際大会との調整
 - 3)大会の中止・延期
 - 4) 敗退後の取り扱い
- 13 感染症対策 ···· P30
 - (1) 新型コロナウイルス対応
 - 1) 2023年度対応
 - 2) 検査について
 - 3) 陽性者への対応
 - 4) 大会期間中に陽性者が確認された場合
 - 5) 試合期間の行動
- 14 附則

マイナビジャパンビーチバレーボールツアー2023(BVT1)競技規定

1 マイナビジャパンビーチバレーボールツアー実行委員会、事務局

(1)実行委員会、事務局の設置

マイナビジャパンビーチバレーボールツアー(以下、「BVT1」という。)はマイナビジャパンビーチバレーボールツアー実行委員会(以下、「ツアー実行委員会」という。)と開催地毎に大会実行委員会を設置する。窓口はマイナビジャパンビーチバレーボールツアー事務局(以下、「ツアー事務局」という。)とする。

1)ツアー実行委員会(全体統括)

ツアー全体の統括として年間を通じて設置する。ツアーに関する取り決めを行う。

- ◆実行委員長 公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部本部長
- ◆競技委員長 公益財団法人日本バレーボール協会競技委員会委員長
- ◆競技副委員長 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟競技委員会委員長
- ◆審判委員長 公益財団法人日本バレーボール協会審判規則委員会委員長
- ◆審判副委員長 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟審判委員会委員長
- ◆各委員会
- ◆ツアー事務局

2)各大会実行委員会(大会統括)

開催地毎に設置する。競技からイベントを含む大会全体の円滑な運営を図る。観客ならびに選手、チームスタッフ、大会役員等の運営関係者および審判員等の安全を確保する。

- ◆大会実行委員長·開催責任者(各都道府県協会バレーボール協会理事長/専務理事)
- ◆大会競技委員長(JVA競技委員会派遣)
- ◆大会副競技委員長(地元都道府県協会·都道府県連盟)
- ◆大会審判委員長(JVA審判規則委員会派遣)
- ◆大会副審判委員長(地元都道府県協会·都道府県連盟)
- ◆総務委員長(地元都道府県協会·都道府県連盟)
- ◆開催地代表各委員

2 エントリー

(1)エントリー

BVT1 に参加を希望する全てのチームは必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1)エントリー資格

◆登録について

BVT1 に参加を希望する選手は JVA MRS に登録をする必要がある。そして必ず一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟(以下、「JBV」という。)選手登録(Sまたは A)を完了させておく必要がある。

その後、大会毎に設定された締切り日までにエントリーをしなければならない。

◆JBV 登録期日について

BVT1 に参加するには JBV 選手登録のS登録を行っていなければならない。エントリー時点ではA登録も認めるが、大会参加が決定した場合、原則大会参加日3日前までにS登録を完了する必要がある。金曜日に大会参加をする場合、ここでいう3日前までとは火曜日中に登録が完了したものとする。

高校生以下の選手(高校3年生まで)についてはJBV 選手登録のA登録でもBVT1に参加できるものとする。S登録の手続きを怠った場合、賞金の返金、ポイントの抹消、次戦出場の権利等を失うこともある。ただし、2023年シーズンはBVT1に参加するための予選が本戦前日の金曜日に行われることもあるため、予選を勝ち抜いたチームがA登録だった場合は速やかにS登録の手続きを行うこととし日数によるペナルティは負わないものとする。

◆外国人選手について

外国人<mark>選手</mark>は JBV 選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、JVA 並びにツアー実行委員会の承認を経て参加を認める。

なお、2回以上参加を予定する外国人選手に限り、Sクラス登録選手として扱いオフィシャルポイントを取得することができる。

外国人選手に関しては入国制限、ビザ申請等の観点からエントリー期間外での対応をすることがある。 MRS からの登録ができない場合、メールでの申請を受け付ける。

◆招待選手について

ツアー実行委員会において選出された招待選手はS登録の手続きを2023年シーズンは免除する。

2)エントリー期限

原則として大会開催日の28日前とする。(前後する場合もある)

時間は日本時間23時59分までを期限とする。MRS システムへのログインがエントリー期間内であっても、エントリー登録完了が期限日を過ぎた場合は無効となりレイトエントリーとなる。

詳細は大会毎の開催要項に則り事前に参加者へ通知する。

日程変更がある場合にも事前に参加者へ通知する。

3)レイトエントリー

大会毎のエントリー期限を過ぎた後も大会へのエントリーは認めるが、そのチームはレイトエントリーチームとして取り扱う。システムにログインできない為、ツアー事務局に直接メールでの申請を行う。

4)ダブルエントリーについて

BVT1 が開催される期間に FIVB、AVC、JBV 主催大会、その他各国において開催される NT 等へのエントリーについては制限しない。

キャンセルが発生する場合は「6 キャンセル」内に記載の通り手続きをするものとする。

5)チームスタッフ申請

BVT1 では参加チームのコーチ、トレーナー、マネージャー、アナリスト等をチームスタッフとしてAD申請のうえ会場内に入場することを認める。チームスタッフの申請は、MRS 内において必ず大会エントリーと同時に行う。

ただし、スタッフの追加または変更は、大会前日まで受け付ける。前日とは金曜日から試合が始まる場合、

木曜日までのことを指す。よって、土曜日に敗退したチームの関係者がその日のうちに他チームのスタッフ申請をすることはできない。

なお、各チーム原則3名(日によって登録を変更することは不可)以内とする。ただし会場仕様などにより 人数を制限することもある。

複数のチームに関与するスタッフはそれぞれのチームで申請することを認める。

大会参加選手・スタッフが他チームのスタッフとして活動する場合は、申請不要でありウォームアップコートなどでのみ練習補助をすることを認める。

ただし、マッチコートでの活動は正しく申請したチームスタッフ以外認めない。

例) A チームと B チームに関与するスタッフ C が A チームのみにスタッフ申請をした場合は A/B チームに対しウォームアップコートでの活動は認めるが、マッチコートでの練習時には A チームのみのスタッフとしてしか活動できない。

- *原則、選手テントの利用は選手を優先し混みあっている場合は利用を控えるようにする。スタッフは性別に沿ったテントを利用すること。性別の異なるテントの利用は禁止とする。
- *チームスタッフとして申請する人物に関しては各チームモラルをもって選定すること。
- *スタッフの他チームに対する会場内での営業、広報活動などは一切認めない。
- 6)チーム広報

各チーム 1 名まで認める。

ただし広報活動(プレス)以外の活動は認めない。申請は各大会 HP 内にある取材申請から期限内に行う。広報担当者はプレスと同じ動きになる為、選手との動線、行動範囲はチームスタッフとは異なる。

7)参加費

BVT1 大会参加費は1チーム/1万円(1人5千円)とする。

(2)参加チームの決定

BVT1 の参加チームは各大会のエントリー期限時点でのJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント (以下、「オフィシャルポイント」)によるエントリーポイントにて参加チームを決定する。予選が実施される大会では本戦推薦チーム、予選参加チームに分かれる。

*ポイント表は JVA、JBV の HP に掲載

- 1)エントリーポイント加算大会
 - ◆FIVB/Volleyball World/FISU
 - ・世界選手権/アンダーエイジ/世界大学選手権
 - ・プロツアー(エリート/チャレンジ/ファイナル)
 - **◆**AVC
 - ・チャンピオンシップ/アジアツアー/ビーチゲームズ/アンダーエイジ
 - **◆**JVA
 - ・ジャパンツアー(BVT1)
 - *ポイント表は新設の大会などがあった場合、更新される可能性がある。
- 2)エントリーポイントについて

各選手のエントリー締切り時点のオフィシャルポイント加算大会(直近52週間前までに出場した大会)の うち、直近4大会で獲得したポイントの大きい順、3大会の合計で計算し、2人の選手ポイントの和とする。 第1戦、第2戦は移行措置として昨年同様に6分の3を採用する。

2023年2月1日より新ポイント制度に変更しているが2023年1月31日までに獲得したポイントの変更はない。エントリーポイント対象外になるのは2月1日以降のポイントとし、1月31日までに獲得したエントリーポイントは新規にエントリーポイントを獲得するまで残るものとする。ただし、新規にエントリーポイントが加算されなくても締切日より365日前のポイントは自動消滅する。

◆エントリーポイント算出の一例

図1

		2022—2023									2023
(例)	8	7	6	5	4	3	0./1	2	1		締切日
	8/27	9/3	9/22	10/15	11/19	1/10	2/1	3/14	3/25		5/1
A選手 (獲得ポイント)	280	420	256	457	100	540	新 ポ イ	359	360		2772pt.
カテゴリー	Future	Challenge	サテライト	BVT1	JBVチャレンジャー	Future	制 + ン 度 ト	サテライト	Future		合計
カウント	直近4大会以上	4/4	3/4	2/4	対象外	1/4	移	対象外	対象外		444= .
エントリーポイント対象	0	0		0	×	0	行	×	×	-	1417pt

※2023年2月1日からFuture大会やJBV大会はエントリーポイント対象外となる

2023年1月31日までのポイントは2月1日以降にエントリーポイント加算大会が無い場合エントリーポイントとして運用される

3)エントリーポイントが同じ場合

BVT1 チームランキング^{※1}の高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。ランキングが同じ場合はオフィシャルポイント(年間)の高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。

それでも同じ場合は大会実行委員会による厳正な抽選により決定する。

第1戦に関しては前年度のBVT1チームランキングは用いずオフィシャルポイント(年間)の高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。

※1 BVT1 の成績における、チームとしてのランキング。同ペアで出場した成績のみを足したランキングとなる。

4)対象になるエントリーポイントが 4 大会に満たない場合 現状、持ち合わせているポイントをもってエントリーポイントとする。4 大会中の2または1もあり得る。

5)補欠/レイトエントリーチーム

BVT1 へのエントリーチームが本戦出場定員よりも多い場合、本戦以下のチームは予選会対象チームとなる。ただし予選を行わない大会では補欠扱いとなる。そしてエントリー期限日を過ぎてエントリーしたチームはレイトエントリーチームとなる。ここでは補欠チームとレイトエントリーの扱いについてのみ説明する。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のエントリーポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。

本戦、予選を問わずレイトエントリーチームのシードはシーディング後も最下位の位置となる。レイトエン

トリーチームが複数いた場合のシード順はレイトエントリーチーム内での先着順とする。

6)新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止又は延期となった場合の対応

中止の場合はいかなる時点においても、当該大会への参加の権利は消滅する。

延期の場合はエントリー期間を再設定し、再度募集する。但し、30日以内に開催する場合は、参加の権利を継続する場合もある。

その場合シーディングポイントの算出日はツアー実行委員会によって決定する。

7)産休によるポイントの取り扱いについて

産休により競技を中断する場合のポイントの取り扱いについては以下の通りとする。

- ・出産後に復帰を希望する選手は妊娠が判明し競技を中断する可能性がある時点で JVA・JBV に対しその旨をできるだけ連絡するものとする。
- ・消失したポイントを復元、適用するためには出産日から2年以内の復帰が必要となる。
- ・産休によるポイントの取り扱いを希望する選手は、JVA・JBV に対し少なくとも復帰する大会(JVA オフィシャルポイント加算大会)の35日前までに、出生証明書と参加予定の大会をメールで申告しなければならない。
- ・出産日から遡りオフィシャルポイント加算対象大会へ参加した日を起算日とし、そこから12か月を遡ったポイントを申告者は100%適用することができる。
- ・ポイント凍結解除日は、復帰する大会のカテゴリー(BVT1/その他大会)によって異なり、その選手に対し不利益を生まない日とする。
- ・復帰後は、<mark>凍結解除日</mark>を新たな起算日とし、出産前起算日の12か月前より1日ずつスライドするカウントダウン方式をとる。復帰の1年後には通常通り12か月前のポイントにシフトする。
- ・エントリーポイントに関しては通常通り直近4大会中の上位3大会が適用される。
- ・この制度は第2子以降も適応するものとする。
- ・産休中にオフィシャルポイントの改定があった場合、現行のポイントに換算する方式をとるものとする。
- ・仮に申請の無い状態で JVA/JBV のポイント加算対象大会に参加した場合はその日から競技を再開したとみなし 2 年以内の申請であっても産休によるポイント復元は行わない。
- ※上記に記載されていない事象が発生した場合には JVA、JBV、ツアー実行委員会において厳正に協議し決定する。
- 8)重症によるポイントの取り扱いについて

重傷により競技を中断する場合のポイント取り扱いについては以下の通りとする。

- ・完治後に復帰を希望する選手で治療期間が4か月を超える重症の可能性がある場合 JVA・JBV に対し、その旨を必ず連絡するものとする。
- ・ 消失したポイントを復元、適用するためには重傷を負った日から 2 年以内の復帰が必要となる。
- ・ 重傷によるポイントの取り扱いを希望する選手は、JVA・JBV に対して少なくとも復帰する大会(JVA オフィシャルポイント加算大会)の 35 日前までに、有効な医師診断書と参加予定の大会をメールで申告しなければならない。
- ・ 重傷によるポイントの取り扱いが適用される場合は、全治 4 か月以上が条件となる。
- ・ 重傷によるポイントの取り扱いが適用された場合、負傷前6か月以内に獲得した JVA オフィシャルポ

イントは100%適応される。

- ・ポイント凍結解除日は、復帰する大会のカテゴリー(BVT1/その他大会)によって異なり、その選手に対し不利益を生まない日とする。
- ・復帰後は、凍結解除日を新たな起算日とし、負傷起算日の6か月前より1日ずつスライドするカウントダウン方式をとる。復帰後の加算大会から6か月後には6か月間だけのポイントになる。したがって12か月分のポイントを貯めるにはさらに6か月の時間を要することになる。
- ・エントリーポイントに関しては通常通り直近4大会中の上位3大会が適用される。
- ・ 重症期間中にオフィシャルポイントの改定があった場合、現行のポイントに換算する方式をとるものとする。
- ・仮に申請の無い状態で JVA/JBV のポイント加算対象大会に参加した場合はその日から競技を再開したとみなし 2 年以内の申請であっても産休によるポイント復元は行わない。
- ※上記に記載されていない事象が発生した場合には JVA、JBV、ツアー実行委員会において厳正に協議し決定する。

3 プレリミナリインクワイアリ・テクニカルミーティング

(1)プレリミナリインクワイアリ「以下(PI)という」・テクニカルミーティング「以下(TechMtg)という」
1)PI

2023年シーズンは大会会場での受付をもって PI とする。

その時に併せてユニフォームチェックをおこなう予定だが、試合前に行う場合もある。

事前 PI を行う場合、要項に記載をするか、選手に対し事前連絡をする。

2)TechMtg

必要に応じ選手へメールなどで事前連絡を行う。

事前 TechMtg を行う場合、要項に記載をするか、選手に対し事前連絡をする。

3)2023年度の取り扱い

2022年度は大会前日17:00をもって全てのシーディング、マッチスケジュールを確定していたが本年は19:00をもって全て確定させるものとする。

4 ワイルドカード

(1)ワイルドカード「以下(WC)という。」

BVT1 にはツアー実行委員会<mark>が定める規定に基づき</mark> WC での大会参加を認めるチームがある。WC による参加チーム数の上限は以下の通りとする。

◆予選・・・2チーム以内 ◆本戦・・・2チーム以内

1)WC の対象

- ・WC は国籍を問わず誰でも申請を行うことができる。
- ・1人の選手に対しWCの選出上限はなしとする。

2)WC の推薦権

- ・WC の推薦は、自薦/他薦を問わず、ツアー実行委員長に対し行うことができる。
- ・WC の申請に対し推薦者がいる場合は、バレーボール関連団体のみの代表とする。
- ・WCの申請と併せ必ず推薦文を記載するものとする。
- ・WC は大会ごとに推薦を行う必要がある。

3)WC の決定権

- ・WC はツアー実行委員会が決定する。
- ・原則、大会ホームページにて発表を行い合否は個々に連絡しない。

4)WC の期限

- WC の推薦書提出は、該当大会のエントリー締切日までに行わなければならない。
- ・提出先はツアー事務局とする。
- ・ 同時に MRS において大会エントリーを締切日までに完了させておく必要がある。
- ・ ただし MRS 登録を行っていない外国人選手などはメールでの大会エントリーを認めるものとする。

5)外国人チームの出場

・出場の決定は、JVAとツアー・大会実行委員会で行う。

6)シード

- ・WC はそれぞれのカテゴリーで原則以下のシードが与えられる。
- ◆BVT1+JVA 主催予選会有りの場合
- 8 チームの予選 ・・・ 予選シード 5
- 8 チームの本戦 ・・・ 本戦シード 3
- ※予選のWCチームが勝ち上がった場合、WC3のチームとは初戦で対戦を行わない形式とする。

◆BVT1 単体の場合

- 8 チームの大会 ・・・ 本戦シード3
- 10 チームの大会 ・・・ 本戦シード 9.10
- 12 チームの大会 ・・・ 本戦シード 6.7
- 16 チームの大会 ・・・ 本戦シード 11.12
- *WC シード順は募集開始時に各大会要項にも記載する。(変更がある場合には事前に通知する)
- *WC は自らのJVAオフィシャルポイントに左右されず上記の通りとする。
- *抽選の場合はそれに順ずる。
- *WC の使用は状況により適用されない場合もある。全ての大会において上限での使用をするかはツアー・大会実行委員会において決定する。
- ◆JBV 予選会の WC

JBV 主催大会における WC は JBV 規定に則り運用される。

7)WC の選手変更

- ・WC は特段の事情が無い限り選手変更は認められない。
- ・WC で出場できなくなった場合には原則大会に参加できずキャンセル扱いとなる。
- ・イレギュラーが発生した場合、ツアー事務局へ迅速に連絡をすること。ツアー実行委員会において厳

正なる審査のうえ最終決定をする。

8)その他補足

- ・WC 申請チームは WC が承認されなかった場合でも、そのチームでの予選エントリーが必要となる。
- ・2023 年シーズンは BVT1 本戦と予選の日程が離れている場合もあるため、本来はエントリー締切 後にリストを HP で発表となるが、海外選手とペアを組み参加を希望するチームのみ、希望があれば 事前に合否を伝えるものとする。

5 事前予選

(1)予選概要

2023年度のBVT1 は全大会事前予選を設けるものとする。ただし開催地の事情または日程調整が難航した場合などはその限りでない。予選会が無い場合には大会要項、HP等で事前告知を行う。

1)予選での順位について

本年の予選会で1位から4位に入賞したチームには順位に応じそれに合わせたシードを与える。

シードは下記が基本となるが、キャンセルやWCの有無によってシード位置は変更となる。

- ◆8 チームの場合 シード5 シード6 シード7 シード8
- ◆10 チームの場合 シード5 シード6 シード7 シード8
- ◆12 チームの場合 シード9 シード10 シード11 シード12
- 1)JBV 主催大会(JBV シリーズ/サテライト大会など)×予選会(以下、「予選会」という。)

本年は一部の大会において JBV 主催大会と BVT1 予選会を併催する。その予選会のルールは JBV の規定に則り行われる。

- *BVT1 に出場するためにはエントリーポイントで算出する「本戦枠」と、事前申請の「WC 枠」、勝ち上がりの「予選枠」とに分かれる。 BVT1に参加を希望するチームで本戦枠から外れたチームは、その対象 予選会である大会にもエントリーをしなければならない。 ただしその大会が JVA 主催の予選会のときに は別途のエントリーは不要である。
- *予選の勝ち上がりは男女各 1 位~4 位までの 4 チームを基本とし、成績順に応じてシードを与えるものとする。ただし、準決勝までの成績で同率4チームを選出する予選方式の場合には draw を採用する場合もある。
- *競技要項はJVA、JBV 公式ホームページ等から確認すること。
- *BVT1 本戦出場確定チームが予選会に参加することは可能とする。ただし、本戦への出場権は消滅し 予選会の結果をもってシードを決定する。その場合、そのチームを「キャンセル」として扱い、エントリーポイント次点であるチームが昇格する。その場合、当該チームに参加の有無を確認する。
 - ※次点とは BVT1 本戦が 4 チームの場合、エントリーポイント順のシード5を指す。
- *予選会に出場希望のある BVT1本戦チームはチーム単位での参加は可能になるがペア組み替えによる予選会への出場はできない。
- *エントリーポイント不足で本戦を漏れたチームは自由に組み替えを行い予選会に出場することができる。よって、BVT1にエントリーした以外のペアでも予選会を勝ち上がればBVT1の出場権を与えるもの

とする。その場合、選手変更したチームを BVT1 のエントリーチームとして再登録し選手変更前のチーム はエントリーリストから削除する。

*選手変更またはキャンセルがある場合は JBV ならびに JVA へすみやかに連絡をするものとする。

*BVT1 のエントリーリスト公開後、本戦確定チームが予選会にも申し込みを行っていた場合は JBV に対しすみやかにキャンセル申請を行うこと。キャンセル通知が無い場合は参加の有無を JBV から確認するものとする。

*JBV 予選会の締切後に選手変更を行うことはできない。(競技規定に沿った選手変更は可能)。

2)JVA 主催予選会

- ・本年のいくつかの会場では JVA が主催する予選大会も開催される。その予選会は JVA の競技規 定、要項に則り行われる。
- ・エントリーは通常通り JVAMRS 内から希望する大会のエントリーを行う。そのエントリーポイント順に本戦と予選が分けられる。
- ・この予選会は BVT1 ではなく、あくまでも事前予選と位置づけ、レフェリー、コートオフィシャルなどの 配置を最低限で行う可能性がある。その場合、要項に記載するか選手に事前連絡をする。

(2)全体シーディング

◆基本的な形

図 2(例として 10 チームの大会)

シード順位	Seed1	Seed2	Seed3	Seed4	Seed5	Seed6	Seed7	Seed8	Seed9	Seed10
ジャパンツアーMDシード	1	2	3	4						
サテライト大会結果					1	2	3	4		
ワイルドカードシード									1	2

◆予選の順位が準決勝までだった場合

図3(例として12チームの大会)

シード順位	Seed1	Seed2	Seed3	Seed4	Seed5	Seed6	Seed7	Seed8	Seed9	Seed10	Seed11	Seed12
ジャパンツアーMDシード	1	2	3	4	5			6				
サテライトQFシード									draw	draw	draw	draw
サテライト大会結果									同率	同率	同率	同率
ワイルドカードシード						1	2					

◆ワイルドカードが1枚のみ適用され、予選順位が決まっている場合

図 4(例として12チームの大会)

シード順位	Seed1	Seed2	Seed3	Seed4	Seed5	Seed6	Seed7	Seed8	Seed9	Seed10	Seed11	Seed12
ジャパンツアーMDシード	1	2	3	4	5		6	7				
サテライト大会結果									1	2	3	4
ワイルドカードシード						1						

6 シーディング

(1)シーディング

大会におけるシーディングの方法は以下の通りとする。

1)通常時

大会開催日から18日または19日前のJVAポイントに基づき確定する。

2)イレギュラーの場合

直近大会の結果を反映させる場合、上記に記載した通常時の日程よりも短い期間でシーディングを行う ことがある。

その場合、要項に記載するか選手に事前連絡をする。

3)JVAオフィシャルポイントが同じ場合

BVT1 チームランキングの高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。ランキングが同じ場合は JVAオフィシャルポイントの高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。

それでも同じ場合は大会実行委員会による厳正な抽選により決定する。

第1戦に関しては前年度の BVT1 チームランキングは用いず JVA オフィシャルポイントの高いチーム(2人の選手ポイントの和)を上位とする。

4)抽選(予選開催内容によって異なる)

抽選方法は全て抽選棒/抽選箱を使用し行う。

競技委員長または競技役員立ち合いの元おこなわれる。

抽選が行われる場合には事前に参加者へ通知する。



図5

- ◆大会スケジュール例(10 チーム出場/金曜日が初日の場合/シーディング後の動きについて)
- ◆直近に BVT1 が入るときはシーディング日が前後する場合がある

月	火	水	木	金	±	日			
24	25	26	27	28	29	30			
-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26			
				エントリー期限					
				23:59まで					
1	2	3	4	5	6	7			
-25	-24	-23	-22	-21	-20	-19			
エントリーリスト	エントリーポイント上位4チームはMD確定→必要に応じてサテライト大会キャンセル								
発表									
予定日	4位以下はBVT1	への出場権を獲得	导するためサテラ	イト大会へ出場					
8	9	10	11	12	13	14			
-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12			
上位4チーム					JBV主催大会	JBV主催大会			
シーディング					兼 予選会	兼 予選会			
15	16	17	18	19	20	21			
-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5			
大会シーディング									
発表 予定日						S登録完了期限			
	00	24	25	200	07	20			
22	23	24	25	26	27	28			
-4	-3	-2	-1	0					
				大会1日目	大会2日目	大会3日目			
29	30	31	1	2	3	4			

[◆]JBV主催大会×予選の締切はJBVホームページから確認

図 6

- ◆大会スケジュール例(4 チーム MD+8 チーム QF=計 12 チーム出場/金曜日が初日の場合)
- ◆直近に BVT1 が入るときはシーディング日が前後する場合がある

月	火	水	木	金	±	日
24	25	26	27	28	29	30
-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26
				エントリー期限		
				23:59まで		
1	2	3	4	5	6	7
-25	-24	-23	-22	-21	-20	-19
エントリーリスト	エントリーポイ	ント上位4チーム	はMD確定			
発表						
予定日	JVA予選会のたる	めエントリーポイ	ント順に予選チー	-ムを8チーム選出	<u>u</u>	
8	9	10	11	12	13	14
-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12
シーディング			シーディング発表			
換算日			予定日			
15	16	17	18	19	20	21
-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5
22	23	24	25	26	27	28
-4	-3	-2	-1	0		
				S登録申請	大会2日目	大会3日目
				大会1日目	. 121 = 11.	. ,_,
29	30	31	1	2	3	4

[◆]予選会の主催者により大会出場のプロセスは異なる

7 キャンセル

(1)キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合には必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。

ツアー事務局へのメールと電話、この2つをもって受け付ける。

1)補欠チームのキャンセル

補欠チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

- ・MRS エントリー期間内であればエントリー登録をした本人が取り消せる。エントリー締切後はツアー 事務局へ PI までに連絡し理由書を提出する。内容に問題がないと判断され、確認を受けた時点でキャ ンセルが認められる。
- ・ただし、大会運営上必要な補欠チームであると判断された場合、キャンセルは認められない。運営上必要なチームとは、規定チーム数+補欠2に、入ったチームのことを指す。ただし総エントリー数から算出するものとし、14チーム以上のエントリーがあった場合シード13、14のチームがキャンセルできないという意味ではない。最終的にエントリーリストに残る2チームが補欠2の扱いとなる。
- 2)予選参加チームのキャンセル

予選参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

- ・その大会が、JVA が主催する予選会なのか JBV 主催大会×予選会なのかでその扱いは異なる。 JVA 主催予選会であればツアー事務局へ大会前日19:00までに連絡し診断書か理由書を提出する。 内容に問題がないと判断され、確認を受けた時点でキャンセルが認められる。JBV 主催大会×予選会で あれば JBV に連絡し JBV の競技規定に則った形でキャンセル手続きを行う。
- ・JVA 主催予選会は前日19:00までにキャンセルがあった場合は補欠から繰り上げる。19:00以降は繰り上げを行わない。
- 3)本戦参加チームのキャンセル(予選勝ち上がりチームも含まれる)

本戦参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

- ・本戦推薦チームがキャンセルする場合は、原則診断書の提出を義務付ける。その他の理由の場合は 文書にて理由書を提出し、大会実行員会の承認を得なければならない。
- ・BVT1 において前日予選を開催した場合、本戦に出場する予選通過チーム及び繰り上がりチーム(発生した場合)は出場が確定した時点以降で、キャンセルする場合、怪我による棄権、熱中症などによるドクターストップ以外は認めない。
- ・FIVB、AVC主催大会又はツアー実行委員会が認める大会への参加又は参加するための移動等によるキャンセルは罰則の適用外とする。ただし、大会参加後(PI後)に怪我以外の棄権は認めない。
- ・上記記載のものに関して大会実行委員会がやむを得ない事由と判断した場合、この限りではない。
- 4)本戦参加チームのキャンセル等による繰り上げ
 - ◆BVT1 エントリー締切日から予選前日 19:00までのキャンセルがあった場合

BVT1 にエントリーをしている予選会参加チームの中でエントリー期限時点のエントリーポイントが最も高いチームを本戦チームに繰り上げる。その場合、該当チームへはツアー事務局からメールまたは電話

にて確認をする。

- ◆予選(JBV/JVA ともに)前日 19:00 から BVT1 開催前日19:00までにキャンセルがあった場合 BVT1 にエントリーをしている予選5位チームの中から BVT1 エントリー締切日時点でのエントリーポイントが最も高いチームを本戦に繰り上げる。予選勝ち上がりチームにキャンセルが出た場合も同じ扱いと する。仮に5位チームに該当がなければ9位チームから繰り上げを行う。
- ◆BVT1 開催前日19:00以降キャンセルがあった場合

選手の繰り上げは行わない。よって試合はByeとなるが設定時間は変更しない。

8 選手変更

(1)選手変更

- 1)選手変更の期限
 - ・エントリー期限前であれば MRS 上において自由に選手変更をすることができる。
 - ・大会エントリー締切日以降の選手変更は原則認めない。ただし、エントリー期限後でも診断書の提出 により大会実行委員会が認めればルールに定められた範囲に限りチームでどちらか一方の選手を変更 することができる。原則診断書の提出とするが怪我や病気以外の場合は理由書も認める。
 - ・BVT1 に出場意思があり、JBV 予選会に参加をするチームが選手変更を行う場合は JBV、JVA 双方にその旨を連絡しなければならない。

2)条件

- ・変更によってチームに加入する選手は BVT1 参加に必要な MRS 登録と JBV 選手登録(S登録)を 済ませていなければならない。通常 3 日前までに S 登録が必要だが上記の場合、日数は適応外とする。
- 3)予選参加チームの選手変更

予選参加チームが選手変更する場合は以下の手続きを行わなければならない。

- ・その大会が、JVA が主催する予選会なのか JBV 主催大会×予選会なのかでその扱いは異なる。 JVA 主催予選会であればツアー事務局へ大会前日 19:00 までに連絡し診断書か理由書を提出する。 内容に問題がないと判断され、確認を受けた時点で選手変更が認められる。JBV 主催大会×予選会で あれば JBV に連絡し JBV の競技規定に則った形でキャンセル手続きを行う。
- ・ JVA 主催予選会は前日19:00までに選手変更があった場合は補欠から繰り上げる。19:00以降は繰り上げを行わない。
- 4) 本戦参加チームの選手変更(予選勝ち上がりチームも含まれる)
 - ◆BVT1 本戦出場選手においてに選手変更があった場合
 - ・選手変更後のエントリーポイントで算出する
 - ◆BVT1エントリー締切日から予選大会前日 19:00 までに本戦チームの選手変更があった場合
 - ・変更後の選手との合計エントリーポイントにて再算出を行う。つまり、リスト内に入ったチームであって もエントリーポイントとして再計算するので場合によっては本戦チームから降格する可能性がある。そし て降格が発生した場合、予選チーム内のエントリーポイント最上位チームを本戦に繰り上げる。

ただし、予選チーム内の選手同士、または新規での選手変更があった場合、予選から本戦への昇格は行

わない。

◆予選(JBV/JVA ともに)前日 19:00 から BVT1 開催前日19:00までに選手変更があった場合 降格の可能性がある場合、予選勝ち上がり4チームとは比較対象としない。BVT1 にエントリーをしている予選5位チームの中から BVT1 エントリー締切日時点でのエントリーポイントと比較し、その最上位チームを繰り上げる。

本戦チームが、予選5位チームよりもエントリーポイントが高かった場合、予選勝ち上がり1位チームの上の位置に入る。予選5位チームが本戦チームよりもエントリーポイントが高かった場合は予選勝ち上がり4位チームの下の位置となる。

◆BVT1 開催前日19:00以降選手変更があった場合

選手変更は認めない。その対応が難しい場合にはキャンセル扱いとなり試合は Bye となるが設定時間は変更しない。

- ・選手は選手変更の手順を正式に踏めば予選参加選手、補欠選手、レイトエントリー選手、未エントリーの選手、誰とでも選手変更をすることができる。
- ・ 補欠、レイトエントリーチームの選手変更があった場合、上記と同様に再計算する。エントリーリスト内の選手と選手変更した場合はポイントによってエントリーリスト内に繰り上がる。
- *ただし大会エントリーをしていない選手と新規にペアを組んだ場合エントリーポイントが高くなったとしてもエントリーリスト内のチームにキャンセルが出ない限り繰り上がらない。

9 全体競技形式

(1) 予選(予選を実施する場合)

BVT1 の予選は6~24 チームが参加して以下のように行われる。

- 1)6~24 チームによるシングルエリミネーショントーナメント
- ・ シングルエリミネーショントーナメントの予選は、本戦参加チームが決定するラウンドにてトーナメント を終了場合がある。
- 2)プール戦(各大会によって内容は異なる)
- ・予選の上位チームが本戦への参加権を得る。本戦参加チームのキャンセル等によるチームの繰り上げ、 ラッキールーザーの取り扱いは「7.選手変更」に定める通りとする。

(2) 本戦

BVT1の本戦は6~16チームが参加して下記のように行われる。

- ◆6~16 チームによるシングルエリミネーショントーナメント
- ◆プール戦(各大会によって内容は異なる)
- ・12チームによる3チーム×4プールのプール戦方式

各試合で勝利したチームには勝点2を与える。そして各試合に負けたチームには勝点1を与え、勝点の多いチームを上位とする。 ただし、棄権により試合が行われなかった場合、勝利したチームには勝点2を与えるが、棄権したチームは勝点0とする。 ただし、全ての継続できない、もしくは開始されない試合は、大

会実行委員会によって「①失格(DSQ)」もしくは「②負傷による失格(INJ/DSQ)」と評価され、②の場合は棄権したチームも勝点1を得るとともに、棄権するまでのセット、得点を保持することができる。

例えば、あるチームが第 1 セットを 21-19 で勝ち、負傷して棄権した時が第 2 セットの 4-6 だとすれば、このチームは勝点1、セットカウントは 1-2、ポイントは 21-19、4-21、0-15 とし、「負傷による失格 (INJ/DSQ)」と加筆される。この例で勝利したチームは勝点2を得るとともにセットカウントは 2-1、ポイントは 19-21、21-4、15-0 となる。

試合が開始される前に「負傷による失格(INJ/DSQ)」が発生した場合、棄権したチームは勝点1、セットカウント 0-2、ポイントは 0-21、0-21 となり、勝利したチームは勝点2、セットカウント 2-0、ポイントは 0-0、0-0 となる。

もし有効な理由が無く試合を棄権した場合は没収試合とし、勝点0で 0-2(0-21,0-21)で「失格 (DSQ)」と記入する。この試合に勝利したチームは勝点2で 2-0(0-0,0-0)となる。

- →プール戦の途中で勝点が並んでいるチームは下記のとおり順位を決定する。
 - a)2 チームが勝点で並ぶ場合
 - ・もし両チームが対戦している場合、対戦に勝利しているチームを上位とする。
 - ・もし両チームが対戦していない場合、全ての対戦における得点率の高いチームを上位とする。
 - ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。
 - b)3 チームが勝点で並ぶ場合
 - ・ 該当する 3 チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
 - ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。
- →プール戦の全試合が終了した時は下記のとおり順位を決定する。
 - a)2 チームが勝点で並ぶ場合
 - ・ 両チームの対戦で勝利しているチームを上位とする。
 - b)3 チームが勝点で並ぶ場合
 - ・ 該当する 3 チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
 - ・得点率が並ぶ場合は、本戦のシーディング順に上位とする。
- →決勝トーナメント(準々決勝~決勝)

決勝トーナメントは各プール上位1~2チーム(計4~8チーム)によるシングルエリミネーショントーナメントを行う。

- →シード1~8の決定方法
- a)プールA1位はシード1へ
- b)プールB1 位はシード2へ
- c)プールC1位はシード3へ
- d)プールD1位はシード4へ
- 各プール2位のシードは抽選により決定する。(抽選方法)※全て抽選棒を使用する。
 - a)予備抽選により引く順番を決める。
 - b)同じプールのチーム同士の対戦とならないように、シード8→7→6→5の順に抽選を行う。
 - c)シード8を決定する場合、予選プールAのチームを除き予備抽選で決定した順番で抽選棒を引き、

「8」と記載された抽選棒を引いたチームをシード8とする。

・16チームによる4チーム×4プールの方式

総当たり戦ではなく4チームでの勝ち上がりトーナメントを行う。

AとBが対戦しAが勝利、CとDが対戦しCが勝利した場合、AとCが勝者トーナメントとして対戦しプール1位、2位を決定する。

CとDは敗者トーナメントとして対戦し3位4位と決定する。

プール 1 位はシングルトーナメントの1~4 シードに入る。

- a)プールA1位はシード1へ
- b)プールB1 位はシード2へ
- c)プールC1位はシード3へ
- d)プールD1位はシード4へ
- 各プール2位のシードは抽選により決定する。(抽選方法)※全て抽選棒を使用する。
 - a)予備抽選により引く順番を決める。
 - b)同じプールのチーム同士の対戦とならないように、シード8→7→6→5の順に抽選を行う。
 - c)シード8を決定する場合、予選プールAのチームを除き予備抽選で決定した順番で抽選棒を引き、「8」と記載された抽選棒を引いたチームをシード8とする。
- 各プール3位のシードは抽選により決定する。(抽選方法)※全て抽選棒を使用する。
 - a)同じプールのチーム同士の対戦とならないように、シード12→11→10→9の順に抽選を行う。
 - b)シード12を決定する場合、シード1とシード8に入ったチームと同組にならないように抽選を行う。 シード1にプールA1位、シード8にプールB2位が入った場合はプールC、Dの3位がシード12に入る。

(3)試合順

試合順は開催期間、コート数、主催者、スポンサー、テレビ放送の事情により通常のシード順と異なる形式で進められることがある。

10 競技全般

- (1) 競技細則
- 1)男女共催

BVT1 は男女共催で行われる。

2)試合形式

BVT1 は全ての試合が原則として3セットマッチ、ノーキャップ方式で行われる。

3)試合の中断

日没サスペンデッド、雷雨、荒天などで試合が中断した場合、大会実行委員会にてその再開を協議する。 翌日に試合が持ち越される場合、すでに進行中だった試合内容を継続させるかりセットさせるかは競技 の進行状況によって大会実行委員会が決定する。

4)競技形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り、大会実行委員会はトーナメント 方式及び試合形式を変更することがある。

5)試合球

- ◆男子:モルテン(V5B5000)
- ◆女子:ミカサ(VLS300)
- ◆練習球:貸し出しを行う。ただし球数に限りがある為、選手間で譲り合って使用すること。

(2) ユニフォーム

BVT1 はユニフォーム規定を遵守して行われる。大会参加チームはユニフォーム規定に適合したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な基準は、JVA 競技委員会、JVA 審判規則委員会、JVA マーケティング戦略推進部並びにツアー実行委員会の判断によって行われる。

1)ユニフォームチェック

- ◆着用するアイテムを PI 時に持参する。PI を実施しない場合は、マッチプロトコル時にレフェリーによって行われることもある。
- ◆もしユニフォームチェック時にユニフォームに違反があると判断された場合、試合開始までに適正なユニフォームへの変更ができない場合は没収試合となる。
 - a)スポンサーロゴ

ユニフォームに露出するスポンサーマークやロゴの数及び位置、サイズについてはユニフォーム規定 に定める範囲とする。胸番号、背番号の識別が可能なものであること。

※ただし露出が制限されるスポンサーもあり得る。

b)スポンサー

各自のスポンサーと、JVA、大会プロモーター、あるいは、開催地協力、後援業者間の問題は、各自が解決しなければならない。

2)マニュファクチャーロゴ

ユニフォームのマニュファクチャーロゴは JVA 用具公告の記載事項を順守すること。

※現在公認ウェアに関してビーチバレーボールは移行期である為 JVA 公認メーカー以外のマニュファクチャーロゴ入ったユニフォームを認めているが場合によりマスキングを指示されることがある。

3)大会主催者によるトップスの支給

本戦出場者へは大会主催者よりトップスが支給される。大会参加選手は必ずそれを着用して試合しなければならない。予選も支給する予定ではあるが支給されない可能性もある。その場合、予選は各チーム、 濃淡 2 色のユニフォームを最低2枚用意すること。本戦、予選ともにトップス支給の有無は事前にツアー 事務局より告知される。ただし 2023 年は貸与またはリサイクルにて運用する。

※2024 年以降は配布の中止を検討している

4)アンダーウェア等の着用

気候・気温等に関係なく、ユニフォームの下にアンダーウェア等を着用することが出来る。

また、どちらか一方の選手だけが着用することも認める。

ただし、コンプレッションパッドや身体機能の向上をサポートするアイテム等の着用には、その使用の必要性が書かれている診断書を提出すること。

5)コーチング

BVT1 は、コーチ又はチーム関係者が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

コーチングの疑いがある場合は、大会実行委員会に通告される。

コーチングがあったと判断された場合、大会実行委員会より当該コーチ・チーム関係者に会場内からの 退場を命じることがある。

6)大会の棄権

本大会は JVA 主催大会として国内競技委員会の趣旨に合わせ、原則「試合の棄権」は「大会の放棄」とみなし、同大会でのそれ以降のプレーを認めない。ただし大会実行委員会がやむを得ない(1試合目にMTO、RIT など)と判断した場合はこの限りではない。

7)ポイント

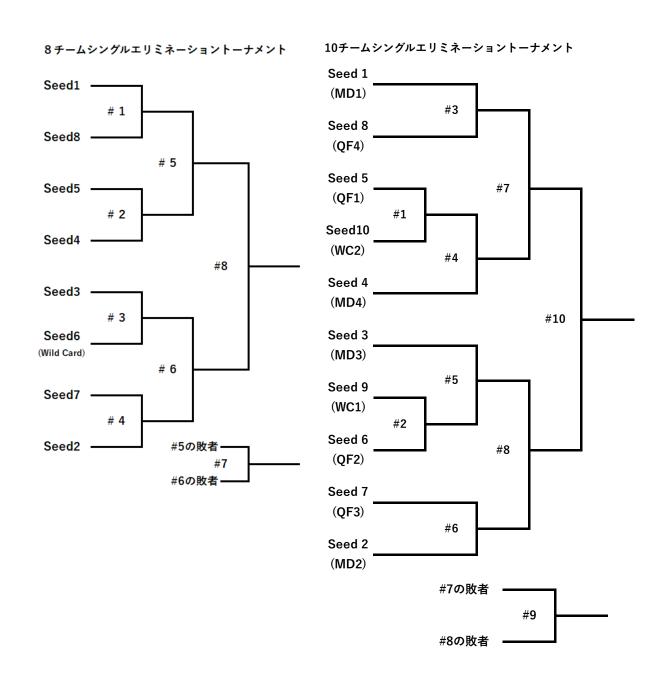
BVT1 に参加したチームにはJVAオフィシャルポイント(マイナビポイント)が与えられる。



11 競技方法

2023 年シーズンは下記のような予選形式又はトーナメントを用いて大会を開催する。 ただし開催日数、試合コート数によっては下記に記載のない大会毎に定めた競技形式を採用する。 その場合、各大会エントリーと同時に参加者へ通知する。

- *3 位決定戦は各大会によって有無が分かれる。
- *「#」に関しては試合順ではない。



#6の敗者-

予選 本戦 (BVT1) 8 チームシングルエリミネーショントーナメント 8 チームシングルエリミネーショントーナメント Seed 1 -Seed1 -# 1 #1 Seed 8 **Draw** # 5 Seed 5 <u>Draw</u> (Wild Card) # 2 #2 Seed 4 -Seed4 -#8 Seed3 Seed 3 -(Wild Card) # 3 #3 Seed 6 -<u>Draw</u> #6 Seed 7 -Draw # 4 #4 Seed 2 Seed2 #5の敗者・



12チーム予選

Pool A	Pool B	Pool C Pool D			
Seed1	Seed1 Seed2		Seed4		
Seed8	Seed7 (wild card2)	Seed6 (wild card1)	Seed5		
Seed9	Seed10	Seed11	Seed12		

*Seed9~12は抽選

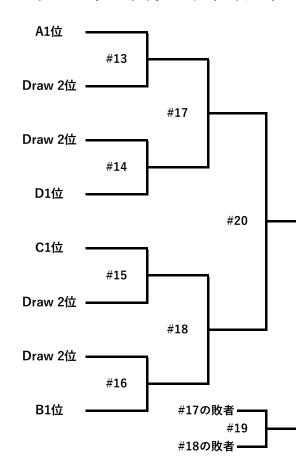
Pool A			
	Seed1	Seed8	Seed9
Seed1		#3	#1
Seed8	#3		#2
Seed9	#1	#2	

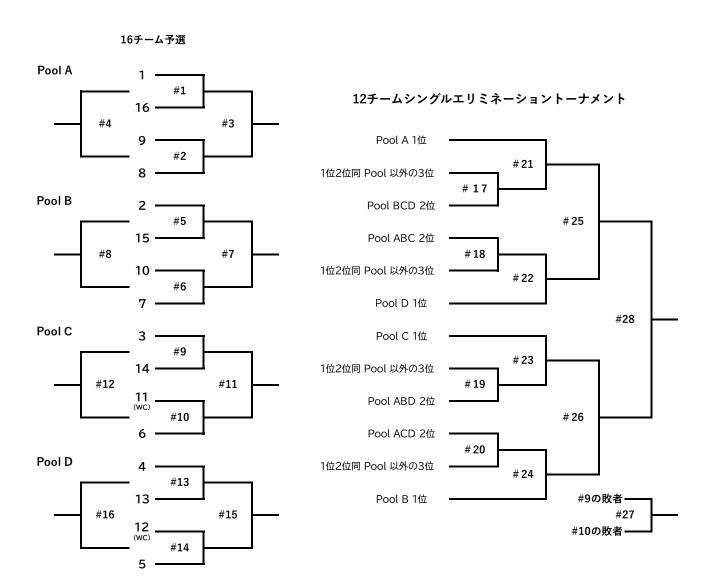
Pool B			
	Seed2	Seed7 (wild card2)	Seed10
Seed2		#6	#4
Seed7 (wild card2)	#6		#5
Seed10	#4	#5	

Pool C			
	Seed3	Seed6 (wild card1)	Seed11
Seed3		#9	#7
Seed6 (wild card1)	#9		#8
Seed11	#7	#8	

Pool D			
	Seed4	Seed5	Seed12
Seed4		#12	#10
Seed5	#12		#11
Seed12	#10	#11	
			26

8 チームシングルエリミネーショントーナメント







12 その他事項

(1)表彰式等

1)表彰式内容

2023 年度は男女各 1~3 位までの総合表彰式を最終日に行う。

ただし、世の中の感染状況をふまえ形式を変更する場合もある。

2)賞金

BVT1 に参加した選手には各大会要項で定められた賞金が支払われる。

3)優勝トロフィー

BVT1 で授与されるトロフィーは持ち回り品の為、表彰式後に返却すること。

4)選手呼び込み

大会に応じて選手ベンチ、コートサイドからの呼び込みを行う。

変更がある場合、参加者へは事前に通知をする。

5)MWC 賞

2023年度も MWC 賞(マイナビワールドチャレンジ)の選出がある。前半戦、年間でのチーム成績による ものとし対象となる大会は要項内にその旨を記載する。

対象チームはマイナビポイントが最上位の男女各 1 チーム。このチームは表彰式に必ず出席しなければならない。そしてユニフォームの着用が求められた場合には必ず応じることとする。授与大会出場チームが対象となるため、該当大会に参加が無いチームは対象外となる。

MWC 賞は外国人選手でも獲得することができる。

通常表彰に加え MWC 賞に関するインタビューや写真撮影がある為、必ず協力することとする。

(2)ビデオ/配信

1)チームビデオ

選手受付にて大会当日申請を行う。

2)ライブ配信

JVA 公式 YouTube チャンネル「Channel JVA」ならびに公式 Twitter にて配信を行う。

*ライブ配信のあるコートにおいて個人又はチームによる SNS 等でのライブ配信は原則禁止する。配信を希望する場合には理由書をつけてツアー事務局に事前に提出すること。

(3)公式行事への参加について

大会に参加する全ての選手は開会式、表彰式など、大会が指定する大会運営上必要な公式行事には必ず 参加しなければならない。

参加しなかった選手については所定のペナルティを適用する。

- 1)公式行事(開会式/表彰式など)
 - ◆同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
 - ◆ツアー実行委員会に対し始末書を提出する。

- ◆以降3大会 JVA 主催大会への出場を認めない。
- 2)併催イベント、交流試合、始球式、スクール等
 - ◆大会実行委員会に対し理由書を提出する。

上記1~2)におけるペナルティについてはツアー実行委員会がやむを得ない事情と認める場合はこの限りではない。

ただし、選手はやむを得ない事情が生じたと考えられる場合についても、それぞれ公式行事の開始前に 大会実行委員会に事態を連絡しなければならない。

(4) コンプライアンス規定の遵守

大会関係者(選手を含む)は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の模範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展に努めなければならない。

法令違反行為に該当するもしくは、該当する恐れがあるものについては、JVA コンプライアンス規定に基づき対処する。

また、競技規則に定めるペナルティの対象となる行為に対しては、ツアー実行委員会で協議のうえ下記の罰則を適用する。

- ・同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ・JVA 主催大会への出場を認めない。期間、大会数はツアー実行委員会で協議し決定する。

(5)試合中の負傷に関する対応

1)メディカルアシスタンスプロトコル

試合中の負傷については、メディカルアシスタンスプロトコルを適用することとし、正規のゲーム中断中 (タイムアウトやテクニカルタイムアウト、セット間など)に加えて、試合を遅延することなく選手に医療支援を受ける権利を与える。ただし、タイムアウトがある場合には、トイレの使用以外は、メディカルアシスタンスプロトコル適用前に、必ずタイムアウトを使用して治療しなければならない。その後メディカルアシスタンスプロトコル適用の可否は、ファーストレフェリーが決定する。

メディカルアシスタンスプロトコルは以下の種類で、治療は最大5分間とする。

- ①出血を伴う負傷の場合、メディカルタイムアウト(以下「MTO」という。)を事象毎に適用する。
- ②下記の場合、リカバリーインターラプションタイムアウト(以下「RIT」という。)を適用する。
- ◆試合中の外傷性の事象に起因する重大な負傷。

外傷性の事象ごとに適用するが、事象が起きていない場合や既存の負傷については適用されない。 試合中にすでに治療した外傷性の事象に起因する負傷を再度治療する RIT を受ける権利は無い。

◆各選手に1試合中1回のみ許可される試合の中断。

過酷な気象条件に関連する病気(極端な暑さなどの厳しい気象条件が公式に宣言されている場合にの み適用)または、トイレの使用のいずれか。

RIT を使用した選手は、試合終了後に試合のレフェリーから BVB-49 用紙を受け取り、記入・サインのうえ審判委員長に提出すること。

2)負傷/病気の選手が医療支援を受ける場合

大会公式医療スタッフ、又は公式に承認されたチームの医療スタッフどちらかを選択する権利を持つ。 医療スタッフの医療支援無しにメディカルアシスタンスプロトコルは許可されない。

負傷した選手が大会公式医療スタッフを選択した場合、医療スタッフがコートに到着後からプロトコルの計時が開始される。公式の医療スタッフがいない場合、又は選手が公式に許可されたチームの医療スタッフを選択した場合は、医療スタッフの到着を待つことなく、すぐにプロトコルの計時が開始される。

3)国際大会との相違について

プロツアーでは2023年度より新ルールが適用されているが国内では適応しないものとする。今後、新ルールを適応させる場合には審判規則委員会とツアー実行委員会において内容を精査し2024年度からの運用を検討する。

(6)入れ墨・タトゥー

入れ墨・タトゥーの露出は制限していない。

ただし、各開催地の迷惑防止条例により制限をされることがある。その場合テーピングやコンシーラーなどの対応で出場を許可することができる。

(7) その他

1)併催大会

BVT1 は代表決定戦やプロツアー等との併催大会を行うこともある。

その場合、主催者同士の協議によって定められた規定をもとに大会を開催する。

2)国際大会との調整

BVT1 の日程は、国際大会との調整を可能な限り行うが、突発的な開催、急遽のキャンセルなどについては、対応できない可能性がある。

3)大会の中止・延期

BVT1 は主催者、スポンサー、開催地の意向により中止または延期をすることがある。 その場合、ツアー実行委員会承認のもと参加者へ通知される。

4)敗退後の取り扱い

敗退チームに来場制限は設けない。ただし感染状況の変化で敗退後は来場不可となる場合もある。

13 感染症対策

(1)基本方針

1)2023年度対応

- ・政府発表に基づき内容は適宜見直す。
- ・健康観察は引き続き個人において行い感染予防策を講じる。
- ・マスクの着用は個人の判断とする。
- ・健康チェックシートの提出は不要とする。

- ・検温は受付に設置した非接触型体温計にてセルフチェックとする。
- 2)検査について
 - ・2023年シーズンは検査を行わない。
 - ・ただし、緊急事態宣言などが発令された場合には検査を行うこともある。
- 3)陽性者への対応
 - ・陽性判定を受けた選手又はスタッフは国の定める期間を自宅療養期間とし回復に努める。
 - ・競技復帰の為にPCR検査(陰性証明)または抗原検査(キットの写真)の結果提出などは求めないが 体調に少しでも懸念がある場合には活動を自粛するものとする。
- 4)大会期間中に陽性者が確認された場合
 - ・ツアー・大会実行委員会は大会の継続を協議する。状況に応じて大会規模の縮小、競技内容の変更又は中止となる場合がある。
- 5)試合期間の行動
 - ・制限は特に設けない。個人において感染症対策を行う。

本規定は令和5年度4月25日から実施する。

本規定の変更は JVA、JBV 並びにツアー実行委員会の議決によって行うことができる。

また、本規定に明示されていない不測事項は JVA 発行の 2023 年度版ビーチバレーボール競技規則に 則り JVA 並びにツアー実行委員会で協議、判断し施行するものとする。

附則

平成28年6月1日

平成28年9月1日

平成29年3月1日

平成29年4月11日

平成30年3月1日

平成31年4月24日

令和3年4月14日

令和4年4月1日

令和4年7月17日

令和5年4月25日